

会 議 録

| | | | |
|--------------------|--|-----------------------------|-------------------------------|
| 会議名 | 令和4年度 第1回田名地区まちづくり会議 | | |
| 事務局 (担当課) | 中央区役所 田名まちづくりセンター 電話042-761-0056 (直通) | | |
| 開催日時 | 令和4年5月17日(火) 19時00分～20時35分 | | |
| 開催場所 | 田名公民館 大会議室 | | |
| 出席者 | 委員 | 15人(別紙のとおり) | |
| | その他 | | |
| | 事務局 | 2人(田名まちづくりセンター所長、地域政策担当) | |
| 公開の可否 | <input checked="" type="checkbox"/> 可 | <input type="checkbox"/> 不可 | <input type="checkbox"/> 一部不可 |
| | 傍聴者数 | 0人 | |
| 公開不可・一部不可の場合は、その理由 | | | |
| 会議次第 | 1 開会 2 あいさつ 3 自己紹介 4 説明 (1) まちづくり会議について (2) 地域活性化事業交付金について 5 議題 (1) 田名地区まちづくり会議会則等の改正について (2) 役員選出について (3) 区民会議への委員の推薦について (4) 今年度のまちづくり会議のテーマと取組について (5) その他 6 閉会 | | |

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

(◎は会長の発言、○は委員の発言)

1 開会

今年度、田名地区自治会連合会会長に代田修会長が着任されたことに伴い、田名地区まちづくり会議会則第5条第2項の規定により、代田会長が本会議の会長に就いたことを事務局から報告した。

2 あいさつ（代田会長）

3 自己紹介

出席委員による自己紹介を行った。

4 説明

(1) まちづくり会議について

(2) 地域活性化事業交付金について

事務局より、資料に沿って、まちづくり会議及び地域活性化事業交付金について説明した。

〈主な意見・質疑等〉

特になし。

5 議題

(1) 田名地区まちづくり会議会則等の改正について

事務局より、資料に沿って、田名地区まちづくり会議会則等の改正案について説明した。

〈主な意見・質疑等〉

特になし。

〈結果〉

原案のとおり承認された。

(2) 役員選出について

事務局より、資料に沿って、令和4年度の役員選出案について説明した。

〈主な意見・質疑等〉

特になし。

〈結果〉

原案のとおり承認された。

(3) 区民会議への委員の推薦について

事務局より、資料に沿って、区民会議への委員の推薦案について説明した。

〈主な意見・質疑等〉

特になし。

〈結果〉

原案のとおり承認された。

(4) 今年度のまちづくり会議のテーマと取組について

事務局より、資料に沿って、令和4年度のまちづくり会議のテーマ案と取組案について説明した。

【テーマ案】 ※取組内容等については省略

1案：ウィズコロナ時代の地域活動を考える

2案：地域のがんばりをみなさんに「知らしめる！」

3案：SDGsから広げる地域の輪

〈主な意見・質疑等〉

◎役員会において、子どもを対象にした事業を実施してはどうかという意見があった。子どもが参加すれば、その祖父母や親も一緒に参加することになり、地域の活性化につながるのではないかと考えた。資料の取組例に限らず、例えば、子ども対象事業を何か考えた場合、皆さんの意見を伺いたい。

○現在、田名地区では、子ども向けイベントがどの程度あるのか。既存イベントの支援、新規イベントの実施、どちらも考えられる。現況をまずは把握しなければならない。

○青少年健全育成協議会では、コロナ禍で大きな交流が全くできていない状況である。今までは、親子釣り大会等のイベントがあった。

- 公民館では、子どもまつりがある。今年度は何とか開催できればと考えている。子ども関連事業というと、一昨年度、コロナ禍ではあったが、公民館を会場にしたイベントを参加者の動線を工夫しながら開催した。前年度は、地域を知る、歴史を学ぶという目的で地域を歩き、後半は田名ふれあい農園で焼き芋を食べようという企画をしていたが、新型コロナウイルス感染症のために開催できなかった。
- 老人会では、夏休みに流しそうめんイベントのお手伝いしたことがある。今後、何が出来るか考えた時に、夏休みや冬休みにスポーツボッチャなら出来るのではないか。なお、資料の取組案の2案にひっかかった。合言葉を「知らしめる!!」、これは上から目線ではないか。いかがなものか。「知ってもらおう」くらいで良いのではないか。
- 田名小PTAでは、親子清掃、木工教室、田名っ子フェスティバルがあり、昨年度は中止となった事業があるが、今年度は実施の方向で進めている。また、SDGsへの取組については、企業から協力の申し出もあることから、企業の協力を得ながら、親子でSDGsに触れていただくような機会を設けたい。
- 社協では、老人会と共催で、田名北小、田名小、相模田名高校の生徒とボッチャを通じて楽しんでいる。生徒自身がボッチャを教えてもらう立場ではなく、教える立場になれるような体制を作りたいという話が相模田名高校からあった。生徒たちが地域の福祉施設入居者とボッチャを通じた交流を図っていきたいという目的のようである。社協ではその他の活動においても、子どもに色々な活動に参加してもらえよう工夫しながら事業展開をしている。
- 一年限りではなく、地域に定着するようなイベントになれば、地域活性化につながると思う。公民館の子どもまつりは屋内イベントとなるので新たに屋外イベントがあれば良い。子どもが集まることによって親の関心も引けるようなものを一年かけて考えたらどうか。
- 各委員から発言のあった案件については必要とは考えるが、既に取り組んでいるところもある。田名地区として、関係団体が考え方をまとめ、分担し、いかに長く続けられるかを考えないといけない。それぞれが独立してやっても、うまくいかない場合もある。
- ◎他に何あるか。現状のことでも、過去のことでも良い。
- SDGsの考え方が地域住民に浸透していないと感じる。SDGsの何たるかを地域住民に啓発できないか。まずはSDGsを地域の人に知ってもらった方がPTAや社協の取組が進めやすいのではないか。
- SDGsについては、役員会でも議論があり、SDGsをまちづくりの議題とすることは時期尚早という意見であった。各団体の活動状況を見ながらSDGsを啓発していくのが良いかと思う。

- まちづくり会議のテーマとするなら、3案のSDGsではなく、1案か2案だと思う。一番問題なのは自治会会員の減少である。コロナ禍で活動ができず、自治会は何をやっているのか、会員に伝わらない。これでは会員が減ってしまう。1案は、子どもを切り口にすると、若い親も関わってくれるだろうという期待からの取組であろう。地域全体として何かできることがあれば良いと思う。制約がある中で、何ができるか各団体で考えることが必要かと思う。また、別の観点では、地域の人は何を考えているのか、困っているのかを調べ、情報を集めることも必要だと思う。
- 子ども対象といっても運営側（主催側）、参加側の両側面から考えられる。例えば、相模田名高校の吹奏楽部はレベルが高いと聞くため、演奏会を企画できるのではないか。
- 婦人会でも子どもに関わることを考えていた。以前、相模田名高校の校長と話を進めていた事業もあったが、コロナ禍で実現していない。相模田名高校や田名中学校と何かやっていきたい。
- 大きなイベントではなくても、まずは小さい単位、地域で何か始めてみて、徐々に地域全体に広げていければ良いと思う。
- 防犯協会では、特殊詐欺被害や自転車事故等の注意喚起活動を子どもを通じて行うことなどが考えられるが、役割については交通指導員にも確認が必要である。
- 青パトに子どもを乗車させることは可能か。青パト活動の体験を通じて、防犯意識の啓発だけでなく、地域を知ることにつながるのではないか。
- 会長に確認する。以前、青パトのアナウンスを子どもにお願いしたところ、子どもを乗車させていると勘違いした住民から苦情が入ったことがある。
- 子どもを参加させる、させないは保護者の判断となる。保護者をどこまで巻き込めるか、そのニーズを拾えるかが大事である。そこを無視して、子ども中心で考えてしまうと本末転倒となってしまうのではないか。先ほど、大きなイベント開催よりも、まずは地域で、というお話があって同意見である。まずは小さなものから出来たら良いと思う。
- 農協では、SDGsを意識して活発に活動している。家にある物を持ち寄って、団体へ寄付する取組等をしている。自治会員が減少しているという課題認識は農協についても当てはまる。なお、田名バスターミナルが設置されたことで水郷田名から橋本駅や淵野辺駅への直行便がなくなり、田名バスターミナルで乗り換えが必要な状況である。私個人の意見としては、車の運転ができなくなると本当に不便だと感じてしまう。子どもも大切だが、まちづくりを考えると高齢化の問題も考えていかないといけない。
- わかな会では、親子で参加できる料理教室を行っている。新型コロナウイルス感染症が収束したら、また計画したい。

〈結果〉

本日の意見をまとめ、次回会議で再度検討することにした。

(5) その他

次回会議は、6月21日(火) 19時からとする。

6 閉会 (木下副会長)

以 上

令和4年度 第1回田名地区まちづくり会議委員名簿（敬称略）

令和4年5月17日

| | 団体名 | 役職 | 氏名 | 出欠 |
|----|--------------------|----------------------------|---------|----|
| 1 | 田名地区自治会連合会 | 会長 | 代田 修 | ○ |
| 2 | | 副会長 | 花房 博文 | |
| 3 | | 副会長 | 篠崎 定夫 | ○ |
| 4 | 田名自治会連合婦人会 | 会長 | 外岩戸 満里子 | ○ |
| 5 | | 副会長 | 渡邊 さよ子 | |
| 6 | 田名公民館 | 館長 | 大谷 政道 | ○ |
| 7 | 田名地区社会福祉協議会 | 会長 | 田所 恒男 | ○ |
| 8 | 田名地区民生委員児童委員協議会 | 会長 | 江成 陽子 | ○ |
| 9 | | 書記 | 首藤 幸治 | ○ |
| 10 | 田名財産管理委員会 | 会長 | 田所 昌訓 | ○ |
| 11 | 田名地区公共交通整備促進協議会 | 顧問 | 志村 勝美 | ○ |
| 12 | 田名地区防犯協会 | 会計 | 篠崎 隆司 | ○ |
| 13 | 田名地区青少年健全育成協議会 | 会長 | 木下 國博 | ○ |
| 14 | P T A 田名中学校区三校合同会議 | 代表（田名小学校 P T A 副会長） | 平井 佑介 | ○ |
| 15 | 田名地区老人クラブ連合会 | 会長 | 小島 昭二 | ○ |
| 16 | J A 相模原市田名支店運営委員会 | 市農協理事 | 大谷 京子 | ○ |
| 17 | 田名地区ボランティアグループ | 代表（市食生活改善推進団体 わかな会田名地区） | 浅見 泰子 | ○ |
| 18 | 田名地域包括支援センター | センター長 | 矢口 君代 | |
| 19 | 有識者 | | | |

出席（○） 15

欠席（ ） 3

合計 18